

# 4年生

教科	成果	課題	重点取り組み
<p>国語</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチや発表は事前に準備をすると、聞き手に伝わる声の大きさと話し、発表内容に対して質問できる児童が多い。</li> <li>・物語や説明文などを読んで、自分の気付いたことや感じたことを発表すること、友達と意見を交流することに積極的な児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい漢字や言葉の習得が不十分である児童が見られる。</li> <li>◎段落の構成に注意しながら、指定された長さで文章を書くこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明文の単元を学習する際に、初め・中・終わりの段落構成をしっかりと覚え、作文指導に生かす。</li> </ul>
<p>算数</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整数、少数、分数についての加算、減算についての技能が定着している。</li> <li>・あまりのある除算についての技能が定着している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3桁×2桁の乗算の正答率がやや低い傾向がある。</li> <li>◎逆思考での立式。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸惑いのある児童に乗算の手順を復習しながら、練習問題で習熟を図る。</li> <li>・日頃から図や終直線などを積極的に活用し、立式の手がかりにする。</li> </ul>
<p>社会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域を調査したり見学や体験したりする学習、また体験では分からなかったことに気付かせるための調べ学習（タブレット、図書資料）を取り入れることで知識が定着してきている。</li> <li>・学習で得た知識を用いて、問題に答えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎社会的事象から自分で課題を発見し、学習に取り組もうとする意欲がやや低い。</li> <li>・複数の資料を関連付けて考えたり、資料から正しく情報を読み取り、それをもとに推論をたてることや自分の考えをもったりすることにやや消極的である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が実感をもって学ぶことができるような体験活動を充実させる。</li> <li>・地域教材の開発や生活に結び付けて考えられるような資料提示を工夫する。</li> <li>・日常生活の中から学習課題を見付け意欲的に解決していけるよう発問や活動を工夫する。</li> <li>・表やグラフ、資料を丁寧に読み取りそこから分かることを伝え合う活動を多く取り入れる。</li> </ul>

理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験や観察に対して、興味・関心をもって取り組むことができる。</li> <li>・実験の経験を重ねることで、基本的な技能が身に付いてきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察・実験したことを知識として定着させること。</li> <li>◎実験や観察で分かったことを、根拠を明らかにして考えたり、文章に表したりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験や観察において、一貫したノート指導を行う。</li> <li>・観察や実験の際は、観察して分かったことや実験を通して分かったことを毎回書き込むことを徹底させる。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼吸や発音の仕方に気を付けて歌ったり、美しい響きを求めてリコーダーを演奏したりすることができる。</li> <li>・楽曲を聴いて、曲がもつよさや、様々な演奏形態などによる曲想の変化を感じ取りながら聴くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつこと。</li> <li>・互いの楽器の音や副次的旋律を聴いて、拍からずれることなく演奏すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の内容や曲想から、作詞者・作曲者の伝えたい思いや情景をじっくりと読み取り、そこから自分が感じた思いや、どのように歌いたいのかを一人一人考えさせ、表現につなげていく。</li> </ul>
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いをもって作品制作ができる児童が多い。</li> <li>・新しい表現や道具の使用に対して、とても意欲的に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎作品を制作するのに完成までの見通しをもって計画的に活動できるようにすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作の過程を分かりやすく視覚的に提示するなどして、自分で計画立てて作業する経験を積ませる。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの領域にも意欲的に取り組む姿が見られる。また、技の定着や技の精度の向上のために、試行錯誤する姿勢が見られる。</li> <li>・みんなで協力することや、チーム競技を行う際の一人一人の役割という点について意識していくことができるようになってきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技能の習得が早い児童と、技能を修得するのに時間を要する児童など、運動技能の習得に差が見られること。</li> <li>◎何を意識すれば技能がうまく身に付けられるのかを考えながら練習をすることに課題がある児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カードに技能向上のポイントを図解して示し、カードを確認しながら活動できるようにする。</li> </ul>